中京大学

法学研究科

法律学専攻

【博士前期（修士）課程】【博士後期課程】

●以下の事項は**「研究科共通ページ」**を参照してください。

入学者受入の方針／出願方法／検定料／受験票の受け取り／試験当日の注意事項（持ち物含む）／合格発表／入学手続／学費等／個人情報の取り扱い／キャンパスマップ（集合場所）

●出願書類（所定用紙）については**巻末**を確認してください。

●博士前期（修士）課程学内特別選抜については**別冊子『2019年度中京大学大学院【学内特別選抜】入学試験要項』（教学部大学院事務課窓口にて配付）**を参照してください。

法学

2019

CHUKYO UNIVERSITY

1. 入学定員・試験区分（選抜方式）・コース制

研究科	専　攻	課　程	試験区分（選抜方式）※	入学定員
法学	法律学	博士前期（修士）	一般・社会人・留学生・学内特別選抜	10名
		博士後期	一般・留学生選抜	3名

※同一日程における複数の試験区分の併願不可。

学内特別選抜については別冊子『2019年度中京大学大学院【学内特別選抜】入学試験要項』（教学部大学院事務課窓口にて配付）を参照してください。

〈コース制について〉
博士前期（修士）課程には、研究コースと専門コースの2コースがあり、①研究コースは研究者・研究員等を目指す者のため、②専門コースは高度な専門的知識を有する職業人を目指す者のためのコースである。目的のいかんにかかわらず、いずれのコースを選ぶかは志願者の自由である。ただし、社会人選抜に出願する者は専門コースとする。

2. 出願資格

博士前期（修士）課程

試験区分	出　願　資　格
一般選抜	**次の①～⑩のいずれかに該当する者又は2019年3月31日までに該当する見込みのある者。** ①学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者 ②大学改革・学位授与機構により学士の学位を授与された者 ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者 ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者 ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者 ⑥外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者 ⑦専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者 ⑧文部科学大臣の指定した者 ⑨学校教育法第83条に規定する大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者 ⑩本研究科において、個別の入学資格審査により、学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者 **【出願資格審査について】** **出願資格⑥⑨⑩による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の2カ月前までに教学部大学院事務課までお問い合わせください。** 対象者（例）…飛び入学による出願希望者 短期大学・高等専門学校・各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者 外国の大学その他外国の学校で修業年限3年の課程修了者　等
社会人選抜	**一般選抜の出願資格を満たすほか、次の①～③のいずれかに該当する者。** ①2019年4月1日時点で30歳に達する者 ②大学卒業後5年以上又は大学院修了後3年以上の社会経験を有しており、本研究科に入学後、その社会経験に関連した事項について研究を行う予定の者 ③その他、本研究科において社会人選抜に出願する資格があると認めた者
留学生選抜	**一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。** ・出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得られる者 ※ただし、日本において通常の高等学校教育の課程又は大学教育の課程を含めて、学校教育における7年以上の課程を修了した者及び修了見込みの者は、留学生選抜には出願できない。

博士後期課程

試験区分	出　願　資　格
一般選抜	**次の①～⑧のいずれかに該当する者又は2019年３月31日までに該当する見込みのある者。** ①修士の学位又は専門職学位を有する者 ②外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ④我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者 ⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者 ⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において２年以上研究に従事した者で、本研究科が当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者 ⑦文部科学大臣の指定した者 ⑧本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者 **【出願資格審査について】** **出願資格⑥・⑧による出願を希望する（本研究科において出願資格を審査する必要がある）場合は、出願開始日の２カ月前までに教学部大学院事務課までお問い合わせください。**
留学生選抜	**一般選抜の出願資格を満たすほか、次の出願資格を満たす者。** ・出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得られる者 ※ただし、日本において通常の高等学校教育の課程又は大学教育の課程を含めて、学校教育における７年以上の課程を修了した者及び修了見込みの者は、留学生選抜には出願できない。

法学

3. 入試日程一覧

日程	課程	試験区分	出願期間※2 最終日 消印有効	試験日	合否通知発送日	入学手続締切日※3 消印有効	入学辞退手続締切日 必着
前期日程	博士前期（修士）	一般 社会人 留学生	2018年 ８月20日（月） ～ ８月29日（水）	2018年 ９月13日（木）	2018年 ９月26日（水）	**【第一次入学手続】** 2018年 10月３日（水） **【最終入学手続】** 2019年 ３月13日（水）	2019年 ３月31日（日）
後期日程	博士前期（修士）	一般 社会人 留学生	2019年 １月21日（月） ～ ２月１日（金）	2019年 ２月15日（金）	2019年 ２月26日（火）	**【入学手続】** 2019年 ３月13日（水）	
	博士後期※1	一般 留学生					

※１…博士後期課程は後期日程のみ実施。
※２…出願期間の平日（９：00～17：00）は、教学部大学院事務課窓口でも出願受付可。詳細は、研究科共通ページを参照すること。
外国在住の方で日本国外から出願する場合は、出願期間前の受付可。事前に教学部大学院事務課に相談すること。
※３…入学手続の概要は以下のとおり。
【第一次入学手続】　入学金の納入のみ
【最終入学手続】　授業料等の納入及び入学手続書類の送付
【入学手続（後期日程）】　入学金・授業料等の納入及び入学手続書類の送付

志願にあたっては、志望指導教員との事前面談を必要とします。出願期間前に期日の余裕をもって教学部大学院事務課へ連絡してください。面談日時等の調整をします。

4. 選抜方法

博士前期（修士）課程

一般選抜――①当日の試験、②出身大学の成績　によって行います。
社会人選抜――①当日の試験、②出身大学の成績、③研究計画書　によって行います。
留学生選抜――①当日の試験、②出身大学の成績、③日本語の学力に関する成績　によって行います。

博士後期課程

①当日の試験、②出身大学院の成績、③論文又はこれに代わる業績を記す書類、④研究計画書　によって行います。

5. 試験科目・時間等

博士前期（修士）課程

専攻	試験区分		試験時間		試　験　科　目
法律学	一般	研究コース	一次試験	9：30 ～ 11：00	**外国語**　①英語　②ドイツ語　③フランス語　④中国語 ・上記①～④の科目の中から、**母語を除く1科目**を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・法史学・日本政治史を志望する者は**「古文書読解」**で代えることができる。 ・英和・和英・独和・和独・仏和・和仏・中日・日中・国語・漢和・くずし字辞典等持込可（どのような種類の辞典を何冊持参使用してもよいが、電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
			一次試験の合格発表	12：30 （予定）	**当日9号館1階ロビーで行い、合格者のみ二次試験の受験を許可する。**
			二次試験	13：00 ～ 14：30	**専門科目** ・自己の志望する指導教員の専攻分野の科目（**志望専門科目**）**1科目**を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・志望する指導教員の専攻分野は、後掲「教員組織」を参照すること。
				15：00※ ～	**口頭試問**
		専門コース	一次試験	9：30 ～ 11：00	**外国語又は論文科目** **【外国語】**①英語　②ドイツ語　③フランス語　④中国語 ・上記①～④の科目の中から、**母語を除く1科目**を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・法史学・日本政治史を志望する者は**「古文書読解」**で代えることができる。 ・英和・和英・独和・和独・仏和・和仏・中日・日中・国語・漢和・くずし字辞典等持込可（どのような種類の辞典を何冊持参使用してもよいが、電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。 **【論文科目】** ・自己の志望する指導教員の専攻分野と異なる分野（**志望専門科目以外**）**から1科目**を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・自己の志望する指導教員の専攻分野と異なる分野の選択にあたっては、後掲「教員組織」を参照すること。
			一次試験の合格発表	12：30 （予定）	**当日9号館1階ロビーで行い、合格者のみ二次試験の受験を許可する。**
			二次試験	13：00 ～ 14：30	**専門科目** ・自己の志望する指導教員の専攻分野の科目（**志望専門科目**）**1科目**を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・志望する指導教員の専攻分野は、後掲「教員組織」を参照すること。
				15：00※ ～	**口頭試問**

専攻	試験区分		試験時間		試　験　科　目
法律学	社会人	専門コースのみ	一次試験	——	**免除**
			二次試験	13：00 〜 14：30	**専門科目** ・自己の志望する指導教員の専攻分野の科目（**志望専門科目**）**1科目**を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・志望する指導教員の専攻分野は、後掲「教員組織」を参照すること。
				15：00※ 〜	**口頭試問**
	留学生	研究・専門コース共通	一次試験	9：30 〜 11：00	**外国語（口頭での日本語会話能力試験）**
			一次試験の合格発表	12：30 （予定）	**当日9号館1階ロビーで行い、合格者のみ二次試験の受験を許可する。**
			二次試験	13：00 〜 14：30	**専門科目** ・自己の志望する指導教員の専攻分野の科目（**志望専門科目**）**1科目**を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・志望する指導教員の専攻分野は、後掲「教員組織」を参照すること。
				15：00※ 〜	**口頭試問**

※…口頭試問の開始時刻は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

博士後期課程

専　攻	試験区分	試験時間	試　験　科　目
法律学	一般	9：30 〜 12：30	**外国語** **①英語Ⅰ　②英語Ⅱ　③ドイツ語Ⅰ　④ドイツ語Ⅱ　⑤フランス語Ⅰ** **⑥フランス語Ⅱ　⑦中国語Ⅰ　⑧中国語Ⅱ** ・上記①〜⑧の科目の中から、**母語を除く2科目**を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・法史学・日本政治史を志望する者は**「古文書読解Ⅰ」「古文書読解Ⅱ」**で代えることができる。 ・科目選択にあたっては、同一言語（Ⅰ・Ⅱ）の選択可。 ※Ⅰ・Ⅱは難易度を表すものではない。 ・研究上必要な外国語（又は言語関連科目）と出願時に申請した科目に齟齬がある場合、受験科目の変更を指示する場合がある（出願後に通知）。 ※言語関連科目とは**「古文書読解Ⅰ・Ⅱ」**を指す。 ・英和・和英・独和・和独・仏和・和仏・中日・日中・国語・漢和・くずし字辞典等持込可（どのような種類の辞典を何冊持参使用してもよいが、電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
		14：00 〜 15：30	**専門科目** ・自己の志望する指導教員の専攻分野の科目（**志望専門科目**）**1科目又は当該教員の指定する専門科目1科目**を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・志望する指導教員の専攻分野及び専門科目は、後掲「教員組織」を参照すること。 ・本研究科博士前期（修士）課程研究コースより進学する者、その他これと同等の教育課程を修了した者と本研究科委員会において認めた者は専門科目を免除。
		16：00※ 〜	**口頭試問**

専　攻	試験区分	試験時間	試　験　科　目
法律学	留学生	9：30 ～ 12：30	**外国語** **①英語Ⅰ　②英語Ⅱ　③ドイツ語Ⅰ　④ドイツ語Ⅱ　⑤フランス語Ⅰ** **⑥フランス語Ⅱ　⑦中国語Ⅰ　⑧中国語Ⅱ　⑨日本語Ⅰ　⑩日本語Ⅱ** ・上記①～⑩の科目の中から、**母語を除く２科目**を出願時に申請し（志願書に記入）、その科目を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・法史学・日本政治史を志望する者は**「古文書読解Ⅰ」「古文書読解Ⅱ」**で代えることができる。 ・科目選択にあたっては、同一言語（Ⅰ・Ⅱ）の選択可。 ※Ⅰ・Ⅱは難易度を表すものではない。 ・研究上必要な外国語（又は言語関連科目）と出願時に申請した科目に齟齬がある場合、受験科目の変更を指示する場合がある（出願後に通知）。 ※言語関連科目とは**「古文書読解Ⅰ・Ⅱ」**を指す。 ・英和・和英・独和・和独・仏和・和仏・中日・日中・国語・漢和・くずし字辞典等持込可（どのような種類の辞典を何冊持参使用してもよいが、電子辞書及びこれに類する機器の持込は不可）。
		14：00 ～ 15：30	**専門科目** ・自己の志望する指導教員の専攻分野の科目**（志望専門科目）１科目又は当該教員の指定する専門科目１科目**を受験すること（試験当日の変更は不可）。 ・志望する指導教員の専攻分野及び専門科目は、後掲「教員組織」を参照すること。 ・本研究科博士前期（修士）課程研究コースより進学する者、その他これと同等の教育課程を修了した者と本研究科委員会において認めた者は専門科目を免除。
		16：00※～	**口頭試問**

※…口頭試問の開始時刻は全体の開始時刻であり、受験生により開始時刻及び終了時刻が異なる。

6. 試験当日集合場所・時間

一般選抜・留学生選抜――名古屋キャンパス９号館１階　ロビー　９：00集合
社会人選抜――――――名古屋キャンパス９号館１階　ロビー　12：30集合

7. 出願書類

【注意事項】

①書類は**黒色のペン又はボールペン**を使用して、明確に記入してください。
②証明書類は**３カ月以内に作成されたもの**を提出してください。
③外国語で記載された書類（卒業証明書・成績証明書等）には**日本語訳を添付**してください。
④所定用紙以外の書類（別紙等）は**Ａ４判サイズ**のものを提出してください。
⑤出願後の出願書類の変更はできません。
⑥志願にあたっては、志望指導教員との事前面談を必要とします。出願期間前に期日の余裕をもって教学部大学院事務課へ連絡してください。面談日時等の調整をします。

書類名称	詳　　細
受験票 写真票 検定料払込票 **【同封書類】**	・受験票に342円分の切手を貼付すること。 ・写真（正面上半身、脱帽、縦４cm×横３cm、３カ月以内に撮影）の裏面に氏名を記入し、写真票に貼付すること。 ・検定料については、研究科共通ページを参照の上、払込手続きを行い、振替払込受付証明書（願書貼付用）を検定料払込票の所定欄に貼付すること。
宛名シール **【同封書類】**	・通知書発送に使用するため、郵便番号・住所・氏名を明確に記入すること。

書類名称	詳　　細
志願書 **【巻末書類】**	① **巻末ー法学・志願書** を使用すること。 ②博士前期（修士）課程社会人選抜志願者は、「在学期間」を選択すること。 ※選択した在学期間のいかんにかかわらず、４年を超えて在学することはできない（長期履修制度については、研究科共通ページ「学費等」参照）。 ③「志望専門科目」欄及び「志望指導教員名」欄は、後掲「教員組織」を参照の上、選択し記入すること。 ④「外国語又は論文科目で受験する科目」欄は、受験する科目名を明確に記入すること。 ⑤「履歴事項」欄が不足する場合は、別紙に記入すること。 ⑥「修士論文又は卒業論文」欄には、博士前期（修士）課程修了者は修士論文について、学部卒業者は卒業論文について、その題目と概要を記入すること（作成途中の場合は予定を記入）。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。卒業論文を作成していない場合はその旨を記入。 ⑦「入学後の研究計画案」欄は、研究計画又は研究したい内容を400～500字程度にまとめて記入すること。 ※別紙にて提出する場合は記入不要。
卒業証明書 （含見込）	**〈博士前期（修士）課程志願者のみ〉** ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者（含見込）の者は、その修了（見込）証明書又は学位授与証明書を併せて提出すること。
学位授与証明書 又は修了証明書 （含見込）	**〈博士後期課程志願者のみ〉** ・最終出身大学院作成のものを提出すること。
成績証明書	**〈博士前期（修士）課程志願者〉** ・最終出身大学作成のものを提出すること。 ※大学院を修了した者又は修了見込の者は、その成績証明書も併せて提出すること。 **〈博士後期課程志願者〉** ・最終出身大学院作成のものを提出すること。
研究計画書	**〈博士前期（修士）課程　社会人選抜志願者のみ〉** ・書式自由、字数制限なし（目安は2,000字程度）。 ・志願書で選択した在学期間に応じた計画を記載すること。 **〈博士後期課程志願者〉** ・書式自由、字数制限なし（目安は2,000字程度）。
論文	**〈博士後期課程志願者〉** ①修士論文又はこれに代わる業績　３部 ②上記①の要旨（Ａ４判用紙、4,000字以内）　３部 ※上記①②いずれもコピー可。返却はしない。 ※外国人留学生で日本語以外の言語によって作成された論文を提出する場合は、日本語による論文要旨（Ａ４判用紙、4,000字以内）を併せて提出すること。
戸籍抄本等	**〈証明書等の氏名と現在の氏名が異なる場合のみ〉** ・氏名の変更を証明できる書類（戸籍抄本等）を提出すること。

以下は外国人留学生のみ提出してください。

ここでいう外国人留学生とは、出入国管理及び難民認定法において定める在留資格「留学」を有する者、又は入学時に得る予定である者を指します。

書類名称	詳　　細
日本語の学力に関する書類	次の①②のいずれかを提出すること。 ※日本の大学を卒業した者（含見込）及び大学院を修了した者（含見込）は提出を免除。 ①「日本語能力試験Ｎ１レベル又は１級」の成績証明書 ②「日本留学試験」の受験票（本学が日本学生支援機構へ成績照会が可能な回のうち本人が「日本語」の成績請求を希望する回のもの）
住民票	・外国人登録をしている市役所や区役所で取得可。志願者本人の在留期間・在留資格が表記されていて、出願前３カ月以内に発行されたものを提出すること。 ※在留期間については、最低限、試験日まで含まれるように申請を行っておくこと。 ※窓口にて出願する場合は、本学職員が「在留カード」の両面コピーを取ることで、これに代えることができる。
身元保証書 **【巻末書類】**	・**巻末ー身元保証書**を使用すること。 ※保証人が自筆で署名し、捺印したものを提出すること。 ※保証人は日本に居住し独立して生計を営んでいる者で、中京大学外国人留学生として日本に在留中の本人に関するすべての事項について保証できる者とする。
パスポートのコピー	・顔写真のページのコピーを提出すること。

8. 教員組織

法学研究科長　愛　知　正　博

	職　位	名　前	専攻分野（専門科目）
博士前期課程（修士課程）	専任教授	愛知正博	刑事訴訟法
	専任教授	小坂田裕子	国際法
	専任教授	杉島由美子	民法
	専任教授	檀上弘文	刑法
	専任教授	土井崇弘	法哲学
	専任教授	丈岐孝宏★	企業法
	専任教授	新里慶一	企業法
	専任教授	檜山幸夫★	日本政治史
	専任教授	古川浩司	国際関係論
	専任教授	保条成宏	刑法
	専任教授	皆川治廣	憲法訴訟論
	専任教授	森　まどか	企業法
	専任准教授	上田貴彦	民法
	専任准教授	大原寛史	民法
	専任准教授	京　俊介	政治過程論
	専任准教授	小嶋崇弘	知的財産法
	専任准教授	柴田洋二郎	労働法
	専任准教授	張　栄紅	行政法
	専任准教授	濱﨑智江★	民法
	専任准教授	矢切　努	法史学

★…指導教員として選択できません。
※上記は2018年５月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、別冊子『中京大学大学院案内』を参照してください。

博士前期（修士）課程受験において選択できる専門科目及び指導教員ならびに論文科目に関する一覧表

専門分野	専門科目・論文科目	指導教員
公法	憲法訴訟論	皆川治廣
	行政法	張　栄紅
民法	民法	杉島由美子
	民法	大原寛史
	民法	★濱﨑智江
	民法	上田貴彦
商法・企業法	企業法	新里慶一
商法・企業法	企業法	森　まどか
	企業法	★丈岐孝宏
知的財産法	知的財産法	小嶋崇弘
刑法	刑法	保条成宏
	刑法	檀上弘文
刑事手続法等	刑事訴訟法	愛知正博
国際法	国際法	小坂田裕子
労働法	労働法	柴田洋二郎
法史学	法史学	矢切　努
法哲学	法哲学	土井崇弘
国際政治	国際関係論	古川浩司
政治学	政治過程論	京　俊介

★…指導教員として選択できません。

法学

	職　位	名　前	専攻分野（専門科目）
博士後期課程	専任教授	愛知正博	刑事訴訟法
	専任教授	小坂田裕子	国際法
	専任教授	杉島由美子	民法
	専任教授	檀上弘文	刑法
	専任教授	土井崇弘	法哲学
	専任教授	土岐孝宏★	企業法
	専任教授	新里慶一	企業法
	専任教授	檜山幸夫★	日本政治史
	専任教授	古川浩司	国際関係論
	専任教授	保条成宏	刑法
	専任教授	皆川治廣	憲法訴訟論
	専任教授	森　まどか	企業法

★…指導教員として選択できません。
※志望する指導教員の専攻分野及び専門科目（志願書に記入する「志望専門科目」）は、上表の右端欄を参照してください。
※上記は2018年５月現在の教員組織です。

各教員の研究分野については、別冊子『中京大学大学院案内』を参照してください。